

2004年度 日本液晶学会 第3回理事会議事録

日時：2004年8月28日（土）13:00～17:30

会場：東京工業大学大岡山キャンパス南8号館811号室

出席：苗村省平，竹添秀男，鳥海弥和，荒谷康太郎，木村直史，木村康之，栗原清二，高英昌，清水洋，関隆広，

高橋雅江，竹原貞夫，中村尚武，西山伊佐，藤掛英夫，分元博文

欠席：大内幸雄，川月喜弘，袋裕善，森裕行

オブザーバー出席：沼田隆弘（事務局）

議案

1) 承認事項

1-1 前回議事録の承認

- ・2004年度第2回議事録が，原案通り承認された。

1-2 会員入退会の承認

- ・2004年度4～6月の入会者数・退会者数が報告され，承認された。

- ・同期の入退会者数は以下の通り。

4月

入会：正会員：4 学生会員：3 賛助会員：0 海外会員：0

退会：正会員：7 学生会員：1 賛助会員：0 海外会員：0

除名（資格停止）：正会員：153 学生会員：130 賛助会員：1 海外会員：27

5月

入会：正会員：4 学生会員：19 賛助会員：1 海外会員：0

退会：正会員：10 学生会員：1 賛助会員：0 海外会員：0

6月

入会：正会員：9 学生会員：25 賛助会員：1 海外会員：0

退会：正会員：1 学生会員：0 賛助会員：1 海外会員：0

2) 報告事項

2-1 総務委員会

（メール審議）

・4月の第2回理事会～第3回理事会までに、第4回～第15回の計12回のメール審議が行われたことが報告された。

（団体協賛）

・総務委員会で10件承認したことが報告された。その他、未決済分として、協賛依頼5件、後援依頼1件、ホームページリンク依頼1件の報告があった。

（2004年度名誉会員）

・苗村会長から名誉会員審議委員会において福田敦夫氏が推薦されたことが報告され、承認された。

(2004年学会賞授賞者)

- ・竹添学会賞選考委員長より本年度の学会賞授賞者（以下）が報告され、承認された。

業績賞：檜山爲次郎（京都大学），水嶋 繁光（シャープ）

論文賞A：佐々木健夫，桂城 厚，望月 大，中澤 幸仁（東京理科大学）

柳生 誠，折原 宏，A. Fajar（名古屋大学）

論文賞B：渡辺 順次（東京工業大学）

奨励賞：兪 燕蕾（東京工業大学），本間 道則（秋田県立大学），荒岡 史人（ルバンカトリック大学）

著作賞：折原 宏（北海道大学）

- ・従来，立候補のみならず推薦自体も少ない傾向が見られる。その打開策として，推薦のためのハードルを下げてはどうか（例えば，推薦のコメントは数行程度でもよいものとする）との意見が出され，現選考委員会で具体案を出し，理事会に諮ることとした。

- ・論文賞など受賞者が複数である場合は，「受賞者は全員会員でなければならない」という原則を外し，筆頭著者のみでよいのではないかとの意見も出された，上記と併せて検討することとした。

(2005年度日本液晶学会講演会，討論会の開催地)

- ・2005年度の講演会・討論会開催地として，公募に対する応募がなかったことを受け，8/20幹事会において京都を候補として検討した経緯が報告された。その結果，会場は立命館大学BKCキャンパスが考えられており，見積りはすでに出されている旨報告された。

(理事および監事の理事会候補者：選挙管理委員会)

- ・役員選考委員会の選考を経て，7/30に投票用紙を会員に送付，8/25に選挙管理委員による開票作業を行い，次期役員候補が正式に決定された旨報告された。総会で承認後，選挙管理委員会は解散される。

(ただし，今年度は正会員外にも投票用紙を送付するという事務局のミスが発生した。)

(アクションリスト)

- ・アクションリスト中に「進行中」となっているもののうち，以下の件は「済」であることが確認された。

(2003-2-01) 学会委託業務契約更新

(2003-4-02) ホームページ上のアドレス整理

(2003-4-05) フォーラム規則改訂

(2004-1-02) 資産のペイオフ対策

(2004-2-01) 資金移動およびそれに伴う新口座開設

(2004-2-03) 2004年度サマースクール参加者確保

(2004-2-04) 液晶講演会での資料の英文化打診

(2004-2-05) 2004年度液晶討論会・講演会およびサマースクールの関連学会への告知

2-2 財務委員会

・栗原理事より、前回理事会から第3回理事会までの間の、新口座開設に伴う資金移動の経過、および、日本学会事務センター破綻問題に関連して、現在の資産状況および今後の対応に関して報告された。

2-3 会員委員会

(会議開催)

・前回理事会以降、会員委員会は具体的活動を行っていないとの報告があった。

(賛助会員増強策)

・SEMI-FPD Expo (4/7~9, 東京ビッグサイト) では期待していた中国・韓国・台湾のメーカーからの出展がなく、何も進展がない状況で、11月のFPD International 2004で再調査する。

2-4 情報委員会

・ホームページの更新状況が報告された。

・来期予算として、5万円増の45万円としたい旨報告された。

2-5 行事委員会

・2004年講演会・討論会(名古屋大会)準備状況報告が以下の通り報告された。

・講演会テーマは「FPDで未来をうつす」とし、講演者は6名にお願いした。

・日本学会事務センターの業務停止の影響が懸念されたが、8/28現在、大きな混乱は認められない。運営資金不足のため参加費の郵便振替口座の通帳・印鑑は9/7返却とともにまず実行委員会で預りたい(後日、財務に返却)旨の要望が出された。

・銀行口座での参加費の振込み先は、緊急措置として、熊本口座に振り込んでいただき、展示ブース料は関研究室の口座に振り込んでいただくこととした。

・今大会より初めて導入したJ-STAGEに関し、利用のためのメリット、不便な点など、今後の課題が報告された。

3) 審議事項

3-1 総務委員会

(2005年度講演会・討論会開催地)

・提案のあった立命館大学BKCキャンパスで、2005年9月5－8日の開催が承認された。

(団体協賛)

・未決裁分のうち、協賛依頼4件、日本学術会議ホームページへのリンクの件は承認された。日本学術会議主催の公開講演会「どこまで進んだ男女共同参画」は現時点では検討が不十分であり、かつ、共催の前例もないので保留とした。九州国際テクノフェアへの後援は、後援の規定がない事により「協賛」として先方に打診することとした。

3-2 財務委員会

(2005年度予算案)

・財務委員会および事務局でまとめた原案を基に、総会に諮る2005年度予算案を更に検討することとした。最終案を総会前に理事会メール審議にかけ、了承を得ることとした。

(学術活動基金)

・学術活動基金管理規則に基づき、同基金の活用について検討し、同基金を「運用財産」に繰り入れることが提案され、承認された。

3-3 行事委員会

(液晶講演会・討論会の事務作業)

・会期までに実行委員長が学務、出張等で不在にすることが多く、各種問合せを含む開催準備に関する

事務作業の遅滞が危惧されることから、講演会・討論会のための事務作業補助員を臨時に雇用したい旨の要望があり、これを了承した。そのための手当てを学会から支出することも併せて了承された。

3-4 その他

・新事務局委託候補のプロアクティブ・コンベンション株式会社の藤原久記氏、吉田恭子氏より今後の事務局業務フローのプレゼンテーションが行われた。その上で、2005年度の委託を前提に、9月以降、可能な限り早急に事務移転を行なうことが承認された。

・次回理事会は、9月27日（月）の総会後に名古屋大学で開催すること確認された。

・次回理事会は新旧理事の顔合わせとなる。新年度に向けてのスムーズな担当事項の引き継ぎのため、当日までに現各理事が担当事項の引き継ぎメモを用意するよう要請があった。

配布資料

資料ナバ -なし：2004年度第2回日本液晶学会理事会議事録（案）

資料ナバ -なし：2003年度決算書，2004年度中間決算書，2005年度予算案

資料ナバ -なし：事務局問題 経過説明

資料ナバ -なし：日本学会事務センター8/17説明会議事内容

資料2004-03-01：2004年度第3回日本液晶学会理事会資料（総務委員会）

資料2004-03-02：2004年度第3回日本液晶学会理事会資料（財務委員会）

資料2004-03-03：2004年度第3回日本液晶学会理事会資料（会員委員会）

資料2004-03-04：2004年度第3回日本液晶学会理事会資料（情報委員会）

資料2004-03-05：2004年度第3回日本液晶学会理事会資料（行事委員会）

2004年 日本液晶学会理事会アクションリスト

2003-1-09：行事開催地公募制再検討（SS運営委員会，討論会運営委員会）

2003-1-12：営利団体主催展示会協賛見直し（総務，財務，会員，会長，副会長）

2003-4-01：講演会・討論会の開催方法の検討（総務，財務）

2004-1-05：幽霊会員の防止対策・会費徴収方法・学生会員の管理・登録フォーマットの整備（会員委員会）

2004-2-02：出版事業に関するプロジェクトチーム編成，および調査（会長，副会長，総務，編集委員会）